

# 吟道月報

No. 44  
51.3.5

## 碩心会

### 会長辞任のごあいさつ

三井 雲 五山

十一年の長年月にわたり由緒ある碩心会々長の要職を松井、根岸両先生の「指導」・「鞭撻」に會員皆杯のご支援ご協力により大過なく過ごし、然かも今日この繁栄並びに碩心の長として在職したことと心から感謝し又感激一入深いものがあります。去る二月の理事会に於いて理事皆杯のご賛同を得て来る四月一日から碩心会再建の大黒柱である根岸見五先生と交代いたしましたことになりました。

顧みますれば戦前松井先生により碩心の痕印の下に生い立ちました念が、マツクアーサー旋風により中絶のごむなさに到りまして十年での再建の任をまかせら

れて根岸先生、板倉前会長などの方々により、再建の一步を小み出し月報既報の碩心会の歩みが始まり今日の発展を遂げました板倉前会長辞任の時矣で

根岸先生は海星吟道会（当時は碩修会吟道部）会長であつた関係もあり、私が推されて就任したわけで、おそか水早かれ一度は再建の才一功労者である根岸先生に会長の要職に就いていただくのが條理と思ひまして、現在お仕事の面でも、泉本部関係の奥でも筆白なき有杯であり又、最近健康の方も若干すぐれめ時代に交代を願ひするのには、まことに心苦しく感じましたが、二、三年前からの折に解れて次期会長をお頼していたわけであり、私の私的事情等や担当回数も、その限度に達し、年令的にも会長責任の重圧をひしひしと肩に感ずるようになった昨今であります。余後の人生を皆杯共々に長く吟の道に励みたい念願切なるものがあります皆杯の旧僚のご厚情と末長いご交遊を賜はることを唯一の頼みに辞任に

踏み切りました。ご承のほどお願ひ致します。  
 勿論新会長の下で全力を挙げて会の爲、吟道の爲に  
 精進をこせていただきます。

永い向の松井、根岸両先生のご指導、ご鞭撻を深謝  
 し、会員皆杯の変わりぬご厚情、ご交遊を祈念して辞任  
 のごあいさついたします。

— おわり —

## 碩心会本部関係

五十一年春季昇位審査は三月十四日(日)の10時より、遠  
 子市図書館ホールで行われます。初段より三段までは  
 別室、四段以上はホールで同時に行はれます。

審査を受ける数は、次の通りです。

初段(37名) 二段(20名) 初依(12名) 三段(21名)  
 四段(18名) 中依(14名) 五段(18名) 六段(20名)  
 奥依(5名) 準師範(1名) 師範(2名)

の計 百六十八名

## 会員の異動

### 退会者

一 既内支部	角田三郎助(前名簿、会員数より削除あり)
363 堀内支部	加藤 清蔵(会員数より除きあり)
171 建設支部	下谷 征泉
274 吟甫支部	戸田 良泉

### 新会員

山の根支部	宮沢寛辰	遠子市山の根3の12の10 電、遠子(71) 二四八七
下山口支部	鈴木有身 (港泉)	葉山町堀内一七三五―五四
上山口支部	鷺山祐夫	葉山町一色一三六六 電 葉山(71) 〇四九五 (前名簿、会員数表記入済み)

新会員、つづき

上山口支部 野川ヨシ 葉山町上山口三ノ元 電 葉山(78)・七〇五〇

(新名芸、会員数表 記入者ミ)

沼間 支部 自見あき 沼間一ノ九ノ三 電 沼子(77)・八二六七

◎ 前号 会員数表の計の建設 11を12に 訂正す

会員数表の計の長柄 14を13に 訂正す

◎ 三月十四日定例予定の泉本部指導者講習は、都合により取りやめとする

以上